



# 移住マッチング懇談会開く

## 二宮・大磯で7ファミリー参加

空き家対策部会（廣上部会長）は二宮（14日）、大磯（22日）で町外からの移住実現のための懇談会を開いた。移住希望者と支援する地元関係者が情報交換し、知恵をし合う初の試み。二宮会場は4、大磯会場は3家族が参加。双方とも具体化に向け強い意欲を持っており、熱いやり取りが続いた。



この懇談会は、国土交通省の支援の下で昨秋から実施しているお試し移住（2泊3日）の今年度最後の企画。参加者は移住後の生活、事業構想をプロジェクターを使って説明。これに対し、地域有力者、先輩移住者、不動産関係者など受け入れ側がアドバイスし、情報を提供した。二宮のマッチング懇には二宮町からも出席した。

参加者は建築家、福祉関係者、翻訳家、園芸家など独自のスキル、キャリアの持ち主。いずれも事前調査やお試し移住体験などを通じてこの地域に強い関心を持っているものの、まだ適当な居住、事業物件を決めるには至っていない。二宮、大磯町への潜在移住希望者はこのほかにも相当多いと見られるが、まだ希望者らをサポートし、組織的に支援する態勢は残念ながら整っていない。

## スマホ教室実施中 — 4月から第3ラウンドへ

昨年9月に募集した「ゲンコミ スマホ教室」の第2ラウンドが進行中だ。第2ラウンドは9月



に申し込んだものの、まだ受講出来ていない方々。会場ではスタッフとも和気あいあい、楽しく学んでいる。スマホは今や日常生活、情報収集に欠かせないツール。ただ、使いこなせていない方が多いことから、講座の拡充に力を入れている。講座では受講者2名にスタッフ1名で対応している。会場はコミュニティダイニング。第3ラウンドは、4—6月に実施する予定だ。（裏面に続く）

# 令和4年度内の生涯学習講座予定

「絵図・旅日記に見る江戸時代の二宮」 講師 細井守氏 (元藤沢浮世絵館学芸員)	2・11(土) 10:00～	町民センター2A
「どうなる世界自動車大革命」 講師 岡野敏彦氏 (日産自動車総研 EV システム研究所)	2・25(土) 10:00～	町民センター2A
「もっと知りたい六所神社」 講師 柳田六所神社宮司 中山史奈子・町学芸員	3・12(日) 10:00～	六所神社集合
「さくらを存分に楽しもう」 講師 勝山輝男氏 元県立生命の星・地球博物館学芸員	3・25(土) 10:00～	町民センター2A

## 実施講座の要約



「だまされない消費者になるために」 1月14日(土)

(講師 前消費者庁長官・伊藤明子氏)

テンポよく軽快な語り口調で、2時間の講座はあっという間に終わってしまいました。「だまされない消費者」+「考える消費者」について、実践的で切実な疑問に答えてくれる講座でした。高齢者に多い消費トラブルは架空請求、定期購入系、悪徳サイト、不要なリフォームなどがあり、解約できないトラブルや高額請求につながる事例が増えている。信頼度の確認ができない広告が増えており、それを見極める知恵を身につけるコツも教えてもらいました。

当日の講座資料を希望される方は、ゲンコミ事務局までお問い合わせください。賞味期限と消費期限の違いは「目からウロコ」でした。参加者約30名。



「トラブルにならない相続」 1月21日(土) 百田英一氏(行政書士)

遺言書は作成しておいた方が良い。というのが結論のようです。相続について相談する方の財産は、1千万円以下の方が33%、5千万円以下の方が43%。財産は多いより少ないほうがかえって取り合いのトラブルになるケースがある。

また、配偶者が出てくることによってトラブルになることも。相続人の範囲は、配偶者と子や親の直系、兄弟姉妹とその子、に法定相続分が渡るが、相続人の確定や遺産分割協議がすんなり決まらないこともある、という。遺言書も、公正証書遺言と自筆証書遺言の2つに分かれ、作成される比率はおおよそ9対1。自筆証書遺言は法律的に不備な内容となる危険性を補完する制度として、法務局が保管できるようになりました。

「夫婦で築き上げた財産を法の不条理で失わないよう自分達で決めることを決めておきましょう」という温かなアドバイスは、百田講師が多くのことを見てきた実感こもる言葉でした。参加者約30名。